

北アルプス医療センターあづみ病院 令和2年教育計画

北アルプス医療センターあづみ病院教育理念：ＪＡ長野厚生連教育理念に則った、患者主体の看護を提供できる看護師を育成します。

教育目的：地域からのニーズに応じ、チーム医療の中で適切な看護を提供するために、看護倫理に基づいた行動と人間性豊かな感性を育み、専門的知識・技術を向上させ、自律した看護実践ができる人材を育成する。

教育目標：１．臨床看護実践能力レベルに基づいたキャリア開発ができるように、臨床実践・教育・管理に必要な知識・技術・態度に関する学習の機会を提供する。
 ２．社会人、医療人としての基本的なコミュニケーション技術を身に付け、患者・家族、チーム医療内の人間関係を築き、調整を図る。
 ３．知識・技術の習得し、経験から学ぶことにより臨床判断力を高め、適切な看護サービスを提供できる。
 ４．看護サービスの質の向上、組織目標の達成のために看護実践や役割などを通してマネジメント能力を養う。
 ５．看護実践を客観的に捉え、論理的思考や科学的な裏づけに基づき分析し、研究的に取り組み姿勢を養う。
 ６．各自が主体的に仕事の目的・目標を選択し、仕事とライフスタイルの調和や自分らしさを創るキャリアが開発できる。

必須研修

対象者		研修名	研修日	目的	目標	方法	担当者
レベルⅠ	新人看護師	メンバーシップ	7月（半日）	チームの中で求められる役割を理解し、メンバーシップを発揮する。	１．部署内での自分の役割を理解する。 ２．自己と他のメンバーの立場や役割を認識し、チームの一員として他のメンバーとチームワークをとり患者に看護を提供する。	講義 グループワーク	固定チーム推進委員
レベルⅡ 研修	今年度 プリセプターを担う	プリセプター研修 ラダー認定課	日程等は後日配布	プリセプターの役割を理解し、自部署での新人看護師への教育方法について考え実践できる。	１．プリセプターの役割について、講義やグループワークを通して理解を深める。 ２．自己の新人看護師への関わりから、自己の教育的関わりの課題を考えらる。	講義 グループワーク	プリセプター研修担当者
	今年度 日タリリーダーを始める 日タリリーダーで役割を 再確認したい	リーダーシップⅠ （日タリリーダー研修） ラダー認定課	6月（1日） 9月（1日） 2月（1日）	リーダーシップの基本的な考え方を学び、リーダー役割を担う上で必要な役割機能・態度を習得できる。	１．リーダーとしての方向性が明確になりその責任が遂行できる。 ２．チームの中で、日タリリーダーとしての役割を理解し、課題が明確になる。	講義 グループワーク	固定チーム推進委員
		看護実践を通して看護倫理を学ぶ	8月	自己の看護実践を倫理的視点で考え、実践できる	１．看護倫理についての学びを深め、看護実践現場から倫理的配慮について考え、自己の倫理的視点を広げ、倫理的課題の対応を考える。	講義：精神科看護師 南方統括看護部長 グループワーク	教育委員会
		アンガーマネジメント	7月	「怒りの感情」をセルフコントロールし、冷静な態度が取れる。	１．こみ上げる「怒りの感情」をセルフコントロールする方法を学習する ２．常に冷静な態度が取れる方法を習得する	講義：統括看護部長	教育委員会
		退院支援の理解	10月	患者の個別性を考慮した生活支援を行う看護の視点を持つと共に、退院支援における看護師の役割と支援のあり方を理解し退院調整能力を養う	１．退院調整における看護師の役割を理解する。事例検討から患者・家族が安心して退院するまでの支援を理解し、臨床の現場で実践できる。	講義：地域連携課課長 e-ラーニング グループワーク 事例検討	教育委員会
	今年度 ラダー認定申請 予定者	ケーススタディ ラダー認定課	3月 事例発表会を開催	事例の看護をまとめることを通して、自己の看護実践から看護のやりがいを見出す	１．自身が行った看護を理論的に振り返り、今後の看護実践での目標を明確にできる	事例発表 グループワーク	教育委員会 担当部長：
レベルⅢ 研修	今年度の チームリーダー	リーダーシップⅡ （チームリーダー研修） ラダー認定課	5月 10月 2月	リーダーとして実践できるように、自己の課題を明確にする。 チーム・部署の問題解決のために向けた課題を明確にし、チーム活動を実践できる	１．リーダーの役割を学び、自己の課題を明確にできる。 ２．チーム・部署の現状を分析し、問題を明確にながら問題解決に取り組む。 ３．年間も目標の立案を学び、実践に則した目標・計画を立案できる。	講義 グループワーク 固定チームナースング：目標 中間 発表 成果	固定チーム推進委員
		アサーション	10～11月頃 （講師と相談し後 日日程配布）	アサーティブネスについて学び、自己・他者信頼を築き、チーム医療が円滑に実践できる力を養う。	１．業務がスムーズに進むような良好な人間関係を築くコミュニケーションやストレスを溜めない自己表現とはどのようなものかを理解する	講義：心理療法士 グループワーク	教育委員会
		意思決定支援	11月頃 （講師と相談し後 日日程調整）	患者の権利擁護者として、意思決定支援に必要なスキルを学ぶ	１．意思決定支援における看護師の役割を理解することができる。 ２．患者や家族との良好なコミュニケーションを持ち、その思い・ニーズを受け止め、最善の意思決定支援に繋げることができる。かつ倫理的視点も考えることができる。	講義：MSW グループワーク	教育委員会
	今年度 ラダー認定申請 予定者	ナラティブ （看護観を深める） ラダー認定課	3月 事例発表会を開催	患者さんとの関わりを言葉にすることで自分の看護を振り返り、あらためて看護の本質ややりがいを、愛着を感じ、自己の看護観を深める。	１．自己の看護実践の場面を考察し、自己の看護観を深めながら自己の課題を明確にする。 ２．自己の看護体験を振り返り、他者の体験を共有することで看護を深める。	事例発表 グループワーク	教育委員会
レベルⅣ 研修		マネジメント研修（問題解決） ラダー認定課	次年度以降 開催予定	看護管理を学び、自部署内での自己の役割が実践できる	１．看護管理の知識を学ぶだけでなく、自部署での看護管理における課題を明確にし、主体的に行動できる機会とする	講義：講師検討中 グループワーク e-ラーニング	検討中
		ファシリテーション研修	年2回 日程は後日	話し合いの円滑な運営を促進し、参加メンバーの自主性を引き出すファシリテーションの基礎スキルを学ぶ	１．ファシリテーションの役割を学び、ファシリテーションに關するスキルを養うとともに、日々の実践のふりかえりから、今後の課題が明確になる。	講義：講師検討中 グループワーク	教育委員会
レベルⅢ・Ⅳ 研修		倫理事例検討への実践	年2回予定 日程は後日 （内容の研修を実施）	事例を通し、臨床実践の場における倫理的課題への対処方法を考え、実践できる	１．部署の倫理的課題・課題に気づき、取り組みや対処方法を考えることができる。 ２．倫理的ふるまいについて学び、部署内の役割モデルとなる。	講義：外部講師 グループワーク	教育委員会
	今年度 教育委員	教育担当者研修	毎月	看護教育の考え方について理解し、課題が明確にできる	１．看護教育に必要な知識や心構えを学び、実践をえながら教育場面を内省し、傾向や課題を明確にし、実践する	講義：グループワーク	教育委員会
レベルⅤ Ⅴ 研修	レベルⅡ以上	褥瘡	毎月実施 （初回レベル申請 までに2コース修了） 1回20人	褥瘡予防方法と治療方法を理解し実践できる	１．発生要因のアセスメントができる ２．発生要因を除去する看護技術を習得する ３．医療関連機器圧迫創傷の予防方法が分かる ４．退院指導に必要な内容が分かる	講義 演習	皮膚排泄ケア 認定看護師
		スキンケア		脆弱な皮膚を守る方法を理解し実践できる	１．対象者に合わせたスキンケアの方法が分かる ２．失禁関連皮膚炎の予防方法が分かる ３．失禁関連皮膚炎のケア方法が分かる ４．皮膚感染症の予防方法が分かる ５．皮膚感染症のケア方法が分かる	講義 演習	
		検体の取り扱い	年3回実施 （1回45分程度） （初回レベル申請 までに2コース修了）	感染症診断に有効な培養検体の取り扱いができる。	１．培養検査の必要性について理解する ２．血液培養検査を適切に行うための知識・技術を習得する ３．適切な尿培養検査検体について理解する ４．その他の検体採取・取り扱いについて注意点を理解する。	講義 演習	感染管理 認定看護師
		中心静脈カテーテルの管理		中心静脈カテーテル管理について知識を深め、中心静脈カテーテル関連血流感染を防止できる	１．血流感染の原因について理解を深める。 ２．マキシマルバリアアプリケーション（MEBP）の必要性と具体的な方法について知る。 ３．MEBPの実践について確認する。 ４．中心静脈カテーテル挿入中の管理について理解する。	講義 演習	

看護研究

看護研究		研修名	研修日	目的	目標	方法	担当者			
	レベルⅡ以上	看護研究	日程は後日	看護研究の意義や目的を理解してできる 看護研究のテーマを考え、看護研究計画書を立案し、実践できる	看護研究の意義や目的について学ぶ。また、研究発表に至るまでのプロセスについて知り、将来の看護研究活動の足掛かりとする 看護研究のプロセスを学び、文献検索やクリティークができる。 看護研究計画書を作成し、実践できる	e-ラーニング	教育委員会			
		ラダー認定課題				講義：外部講師				
						院内学会発表 院外学会発表				

スキルアップ研修

対象者		研修名	研修日	目的	目標	方法	担当者
専門研修	レベルⅡ・Ⅲ	緩和ケア①	9～10月	緩和ケア対象患者（患者・家族）を全人的に捉えることができるよう、アセスメントする能力を向上させる	包括的アセスメントを習得する	講義	緩和ケア認定看護師
	レベルⅣ・Ⅴ	緩和ケア②	1～2月		緩和ケアを提供する看護師が直面する倫理的問題とは何かを理解することができる	講義	
	レベルⅡ～Ⅴ	がん化学療法	年2回（日程が後日）	がん化学療法看護の基本・トピックスを学ぶ	がん化学療法看護に必要な基礎知識を身につけながら看護を実践できる受け持ち看護師として主体的実践ができる	講義 がん化学療法看護に必要な基礎知識	がん化学療法認定看護師

院外研修

レベルⅡ（3年目）	フレッシュ研修（厚生連） ICSLセミナー 看護協会 レベルⅡ 農村保健研修センター
レベルⅢ	認定看護師・専門看護師・学会認定資格など 幹部看護職員研修（厚生連） ファシリテーション研修（厚生連） 看護協会 レベルⅢ 農村保健研修センター
レベルⅣ	ファーストレベル（看護協会） 目標管理（厚生連） 医療メディエーション 看護協会 レベルⅣ 農村保健研修センター
レベルⅤ	セカンドレベル・サードレベル（看護協会） 医療安全管理者 看護協会 レベルⅤ 農村保健研修センター

e-ラーニング（学研ナースングサポート）

基礎習得コース
中堅コース
精神科コース
認知症コース
重症症、医療・看護必要度コース
リーダー育成コース
入退院支援・地域包括ケアコース
院内全体研修
看護管理コース
看護管理者特別コースⅠ
看護研究コース

院内全体研修

医療安全	年間2回の受講が必須
感染	